

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和4年度 第1回会議 会議録

[期日] 令和5年3月16日(木)

[時間] 午後3時00分～3時55分

[場所] 市役所4階400会議室

[出席委員]

氏 名	備 考
浅沼 紀子	
上野 ひろ子	
齋藤 守彦	
立野 慶子	副会長
角田 佐智子	
長谷川 裕一	
速水 昭雄	会 長

(アイウエオ順・敬称略)

[欠席委員]

氏 名	備 考
黒川 洋子	

[市関係者]

氏 名	所属・職	備 考
岡安 泰弘	企画総務部総務課主幹	
内木 久美子	企画総務部総務課秘書係長	
渡辺 明博	企画総務部総務課広報広聴係主査	

[傍聴者] 3名

[会議資料]

- 1 会議次第
- 2 出席者名簿
- 3 席次表
- 4 資料1 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)
- 5 資料2 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果

- 6 資料3 男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果
 - 7 資料4 千葉県男女共同参画地域推進員令和4年度活動報告書(抜粋)
 - 8 千葉県男女共同参画センター情報誌「e パートナーちば」
 - 9 千葉県男女共同参画推進事業所表彰令和4年度受賞事業所の取組紹介
-

1 開会（午後3時00分）

配付資料の確認後、鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針により、会議を公開とするほか、傍聴並びに報道機関による取材を許可し、会議録作成のために録音する旨を説明した。

2 会長あいさつ（要旨）

委員の皆様には、会議にご出席頂き、厚くお礼申し上げます。皆様のご尽力により、4回にわたる審議会を経て、約1年前に「第3次鴨川市男女共同参画計画」が策定された。本日は、計画の初年度である令和4年度の取組について、ご確認を頂く場として開催した。限られた時間の中、忌憚のないご意見・ご提言を賜るよう、お願い申し上げます。

4 議事

鴨川市附属機関設置条例第5条第2項の規定に基づく会議の成立を司会から報告した後、同条第1項の規定に基づき、速水会長が議長となって議事を進行した。

また、議長から、浅沼紀子委員及び立野慶子副会長を会議録署名委員として指名した。

議事（1） 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績について

事務局から、資料1「第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

（浅沼委員）

事業番号44番について、審議員等における女性委員の登用率が前年度より下がった原因と、今後の対策をどのように考えているか。

（事務局）

市の指針では、各附属機関における女性の割合が30パーセント以上になるよう努めることとしており、計画の成果指標にも設定している。充て職として各団体の長を委員を選出頂くケースが多いが、各団体の長に女性が少ないことから、結果として現状の数値となっている。

即効性が期待できる対策ではないが、一例として、団体長本人ではなく、団体長が推薦する方として女性を委員に選任するなどといった、柔軟な選任方法を検討していく必要があると考える。その場合も強制はできず、あくまでもお願いとなってしまうが。

(浅沼委員)

鴨川市でも市議会議員が女性が多く当選している。今後に向けた積極的な取組をお願いしたい。

(事務局)

県の調べによると、女性委員の割合は野田市が37.4パーセントで最上位、13.3パーセントの南房総市が最下位であり、本市も県全体では下位に位置している。先進自治体の取組なども参考にしてみたい。

(浅沼委員)

事業番号93番の取組について、液体ミルクで消費期限が近いものについては、健康推進課が行っているパパママ学級に提供し、実際に使ってもらいたいと思う。

船橋市では、常温で飲ませることができるミルクを準備しているので、参考にしてみたい。

(事務局)

市では過去に、消費期限が近い乾パン等の備蓄品を、防災訓練等の際に参加者に配ったことがある。今後消費期限を迎える液体ミルクの処分について、危機管理課に確認をとってはないが、浅沼委員からの提言を同課に伝えることとしたい。

(速水議長)

備蓄品について消費期限と賞味期限の違いを把握したうえで、引き続き備蓄品として活用できるものを誤って処分してしまわないよう注意してほしい。

(事務局)

ご忠告を危機管理課に伝えることとしたい。

議事（２） 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について

事務局から、資料２「男女共同参画に係る啓発活動の実施結果」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

(立野副会長)

男女共同参画週間に係る啓発期間において、特設コーナーに立ち寄った人数などの実績は把握しているか。

(事務局)

専任の職員が毎日カウントすることはせず、総合受付の職員に適宜聞き取り、当日の立ち寄り人数や年齢層などを確認した。なお、特設コーナーに啓発グッズ100個設置し、そ

れらが全て持ち帰られていた。また、特設コーナーの設置場所には自動販売機とテーブルが設置しており、喫茶や待ち合わせで立ち寄った来庁者にも、間接的ではあるがパネル展などをご覧頂いているものと考えている。

議事（３） 男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果について

事務局から、資料３「男女共同参画に係る研修会・セミナーの実施結果」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

（長谷川委員）

自分の子が鴨川中学校にいたことから、中学生セミナーの様子については聞いている。男女共同参画の意識が高い今の子どもたちよりも、昔の概念に捕らわれている大人世代の意識改革をしていかなければならないと考える。

（事務局）

国や県からは、年間を通じて男女共同参画や女性活躍、DV防止に関する様々なセミナーや講師が紹介されている。中学生セミナーや職員研修に加え、一般の方に向けた講演やセミナーの開催についても、WEBや対面など開催方法も含め、検討してまいりたい。

（長谷川委員）

中学校でのセミナーなどに審議会委員が参加できるようお願いします。

（事務局）

講師派遣元の県では、生徒のほか保護者や教職員などの聴講も希望しており、委員の参加は可能である。また、千葉県が進める地域推進員活動でも、南房総地域の中学校で寸劇事業を実施しており、鴨川市内の中学校で実施する際は、委員にも参加を案内したい。

（浅沼委員）

職員向けの研修会について、今回参加した40人以外にも職員はいるのだから、毎年続けるなどして全員に受けてもらいたい。

その際、審議会委員も聴講できるよう手配をお願いしたい。

（事務局）

今回のように講師による対面での研修のほか、WEBによる自主研修など様々な手法により継続したいと考えている。また、委員の参加については、研修内容や開催方法などと合わせ検討してまいりたい。

（齋藤委員）

職員研修の参加者募集については、強制によるものか、それとも自主的に手を挙げて

らったのか。また、参加者の年齢層や男女の比率はどうか。

男女共同参画関連の用語の中には、「アンコンシャス・バイアス」など市民に浸透していないものもあるので、日本語での表記に努め、説明も加えてほしい。

(事務局)

研修会参加者の年齢層や性別についての正確な情報は手元にないが、30代から40代が中心で、男性の参加が多かったと記憶している。

用語表記については、例えば「アンコンシャス・バイアス」のとなりに「無意識の思い込み」という日本語説明を括弧書きで加えるなど、わかりやすい表記に努めてまいりたい。

(立野副会長)

中学生セミナーのアンケート結果を見ると、先生方に対して男女共同参画意識向上のためへの啓発や研修が必要だと感じる。

(事務局)

セミナーには教職員も参加頂いているほか、アンケートの集計結果や中学生の自由意見は、実施中学校と教育委員会にも提出しており、今後の指導の参考にしていただけるものとする。

(浅沼委員)

アンケートQ4-2、固定的な役割分担意識に関する回答の中で、その他の項目が突出して多いが、具体的な内容を把握しているか。

(事務局)

把握はできていない。これまでアンケート用紙への記入という形で行っていたものを、中学校からの提案でタブレットでの回答に切り替えたが、その際の設問の設定に不具合があり、「その他」を選択した際に具体的な内容を記入させる欄が漏れていたためである。

今後タブレットによるアンケートを行う際の改善点としたい。

議事(4) 千葉県男女共同参画地域推進員令和4年度活動報告について

事務局から、資料4「千葉県男女共同参画地域推進員令和4年度活動報告書(抜粋)」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等はなし。

議事(5) その他

コメント及び質疑等はなし。

4 その他

事務局から、来期の委員就任にあたり、「委員就任承諾書」への記載を依頼した。
併せて、速水会長と長谷川委員、黒川委員が今期をもって退任される旨を報告した。

5 閉会（午後 3 時 55 分）

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項の規定により、男女共同
参画推進審議会 令和 4 年度 第 1 回会議における会議録の内容について確認します。

令和 5 年 3 月 2 3 日

浅沼 紀子

立野 慶子
